

樹木の更なる保全と新たなみどりを創る取り組み（2024年9月9日公表）に関するご質問への回答

1. 受付期間：2024年9月9日～9月16日

2. ご質問と回答

番号	ご質問	回答
1	2024年9月9日に公表された見直し案において、伐採樹木の削減本数124本のうち42本は枯損等が生じた樹木とのことですが、42本は当初伐採予定の樹木でしょうか。また、枯損等が生じたことはいつの段階でどのように判断されたのでしょうか。それらの樹木の位置などの詳細を示してください。	42本については、当初伐採予定の樹木となります。枯損等が生じた樹木については、2023年毎木調査を基に判断しております。以下のリンクにて調査結果を公表しておりますので、詳細はそちらでご確認いただくことが可能です。 既存樹木調査データ（毎木調査・活力度調査（2023年）） https://www.jingugaienmachidukuri.jp/pdf/%E6%97%A2%E5%AD%98%E6%A8%B9%E6%9C%A8%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%EF%BC%882023%E5%B9%B4%EF%BC%89.pdf
2	2024年9月9日に公表された見直し案について、いちょう並木の歩道縁石から新球場の地下躯体までの距離を18.3mまで拡大するとのことですが、新球場にはどのような影響が出ますか。	新球場の詳細な設計はこれからとなりますが、施設計画の一部に変更を伴うものとなりますので、見直し案で公表したセットバック方針に従い、野球を見る人、プレーする人双方にとってよりよい試合環境の実現を目指しながら、検討を進めてまいります。

以上